

冬山登山は十分な準備・計画と登山届で 遭難事故を起こさないよう万全な備えを！

冬山は気象状況が刻一刻と変化します。穏やかな状況から一変し、突然の猛吹雪になり、周囲が視界ゼロとなることもあります。雪面の状態も新雪だったり、アイスバーンだったりと変化が激しく、なだれや滑落の危険性が一段と高くなります。登山やスキー・スノーボードで冬山に入る方は、備えを万全にして、気象情報に十分留意いただき、無理な行動はせず、遭難事故を起こさないよう注意して下さい。

《山に入る際の留意事項》

登山届は必ず最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。また、北海道警察本部地域企画課に Fax (011-251-3535) で送付することも可能です。なお、北海道警察のホームページからオンラインで提出することも出来ます(「北海道警察 安全登山情報」で検索)。

山麓と山頂では、天候が正反対になることもあるので、出発前に気象状況や天気予報を確認し、**気象の急変時には無理な行動を控えましょう。**

【旭川地方気象台 気象状況・天気予報の確認先 Tel(0166)32-6368】

冬山では、毎年なだれによる遭難事故が発生しています。特に新雪がたくさん積もった直後は、なだれの起きやすい場所を避けて行動するなど、細心の注意を払うようにしましょう。

単独登山は避けて経験あるリーダーのもと、各自の体力と経験に応じて、無理なくゆとりを持った計画をたてて下さい。避難コースや予備日も考慮に入れましょう。

装備・持物・服装を整え、十分な食料を用意しましょう。特に防寒の準備は万全に！

緊急時に備えて、携帯電話や無線機などを携行しましょう。予備のバッテリーも忘れずに。万が一遭難して救助を求めるときは、すぐに110番通報しましょう。

大雪山系や十勝岳連峰では、火山活動により有毒なガスが噴出しているところがあるので、立入禁止の場所には入らないよう気をつけましょう。また、事前に気象庁ホームページで火山活動に関する情報を入手しましょう(「火山登山者 情報提供」で検索)。

大雪山系や十勝岳連峰は国立公園内です。自然を保護するため、ゴミは持ち帰り、動物や高山植物等を傷つけないよう注意しましょう。特にヒグマを人慣れさせないためにも食料は絶対捨てないようにしましょう。

本件の問い合わせ先：

上川総合振興局 地域創生部 地域政策課(防災担当)	Tel(0166)46-5918
留萌振興局 地域創生部 地域政策課(防災担当)	Tel(0164)42-8426
環境省 上川自然保護官事務所	Tel(01658)2-2574
旭川地方気象台 防災管理官	Tel(0166)32-7102